

## 助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人よこすかなかなかや

代表者・役職名 氏名 理事長 和田信一

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

#### 1. 助成プロジェクト名

映画「ゆめパのじかん」鑑賞会

#### 2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

子どもボランティア等みんな一緒に川崎夢パークのドキュメント映画を鑑賞しみんなで感想などを話し合いながら夕食を楽しむ。

昨年みんなで川崎夢パークに遊びに行った時には見えてこなかった子どもの権利条約や取り組みを映画を通して学ぶ。自分たちはしっかり主張していいことや、自由でガマンし続けなくてよいことを知り今の心をほぐしてほしい。

#### 3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

今回未就学児から高校生まで計8名の子ども達が貸し切りマイクロバスで一緒に同じ空間で移動し、映画を鑑賞することで年代を超えた交流を持つ事ができ、一緒に食事をし、お互いに他者を気づかう場面が多々見ることができました。

台風の中での活動となりましたが、皆その大変な状況さえもプラスに捉えて楽しんでいました。

#### 4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

今回の活動を通して“なかなかや”の子ども達にはもっと多くの体験をさせてあげたいと思いました。

それぞれ置かれている家庭の事情により外に出て思いっきり楽しむ経験が少ない子ども達に今後大人が心から寄り添いつつ自然の中で楽しむ活動も必要だと思いました。

#### 5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください







重江良樹 監督作品  
『あとにきたら又えやん』

# ゆめパーク のじかん



yumepa-no-jikan.com

神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめパ」。遊んで、転んで、立ち止まって……誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所である。子どもたちのかけがえのない“じかん”を情感豊かに描いた珠玉のドキュメンタリー。

監督 重江良樹 構成・プロデューサー 大塚一也 編集 志村 隆 音楽 宮本 浩 制作協力 認定NPO法人アトピーサポートセンター  
撮影協力 川崎市、川崎市子ども夢パーク、公益財団法人 川崎市文化芸術振興財団、夢パーク支援委員会、ちい（みん）海城で子育てできるよ！連絡会、高尾建設株式会社  
製作 第一コアフィルム・インクスタジオ 宣伝・マーケティング エイブ・プロジェクト、エコーナ 配給 インクスタジオ 2022/09/09（日本）/2022/10/07（アメリカ）  
構成 文化庁文化芸術振興費助成（映画制作活動支援事業）/独立行政法人日本国際文化振興会 後援 川崎市文化芸術振興委員会

